

ハンドロウエル シリーズ

取扱説明書



株式会社 友定建機

令和7年11月

この度は、
ハンドトロウェルシリーズを
御買い上げいただき、まことに有難ございます。

もし万が一、商品に不備等がございましたら
まことに、御手数ですが

背表紙に記載しております
電話番号まで、御連絡下さいますよう
宜しく、お願い申し上げます。

目次

厳守事項	3
仕様	4
各部の名称	5
運転方法	6 ~ 10

厳守事項

このたびはトモサダのハンドトロウエル シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しく、安全にご使用いただくために本書を必ずお読み下さい。

本書にはハンドトロウエルのご使用に際しての注意事項のランクを《危険》《警告》《注意》の3段階に分けて記載しています。



危険 : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示します。



警告 : 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定されることを示します。



注意 : 取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定されることを示します。

安全のため、必ずお守り下さい

- ・ 本機はコンクリート表面の仕上げ用として設計製造されたものです。これ以外の用途に使用した場合、故障したり破損することがあります。
- ・ 本機の運転は、本機の構造、機能を理解した作業者が行って下さい。
- ・ ヘルメット、保護メガネ、防塵マスク等、保護具を適切に着用して下さい。
- ・ 本機を改造して使用しないで下さい、安全および機能上重大な問題をもたらすことがあります。
- ・ ベルトカバー等を外したままで運転しないで下さい。
- ・ 本機を積載、輸送する場合は、重量、バランス等を考慮して事故のないよう注意して下さい。
- ・ 消耗品の交換、保守点検の際に使用する工具は、用途に合った適切なものを使用して下さい。
- ・ エンジンオイル、ミッションオイルなどの廃油は各自治体の規定に従って、適切に処置して下さい。



注意

本機取り扱いに際し、使用上の安全に対しては、十分な設計製造をしております。但し、それ以外の用途での使用、運搬時や保管時の想定外の破損、劣化により、障害に繋がる事故が起こる可能性もあります。より安全にご利用頂く為に、年1回程度のメーカー点検を推奨いたします。

ご購入時点検

本体を平滑な地面に下ろして、エンジンのオイルをチェックして下さい。不足している場合は、エンジンオイルSF-10W30を注油して下さい。

仕 様

ハンドトロウエル シリーズ 仕様

型 式	NSB-75-3	NSB-75-4
概略寸法	L1860 × W793 × H690(mm)	L1860 × W793 × H690(mm)
本体質量	70 kg	72 kg
エンジン	120cc 空冷4ストローク単気筒 ガソリンエンジン	120cc 空冷4ストローク単気筒 ガソリンエンジン
最大出力	2.6kW	2.6kW
燃料タンク容量	2.0L	2.0L
翼回転数	70 ~ 130 r.p.m	70 ~ 130 r.p.m
翼羽根数	3	4
ブレードサイズ	150 × 300(mm)	150 × 300(mm)

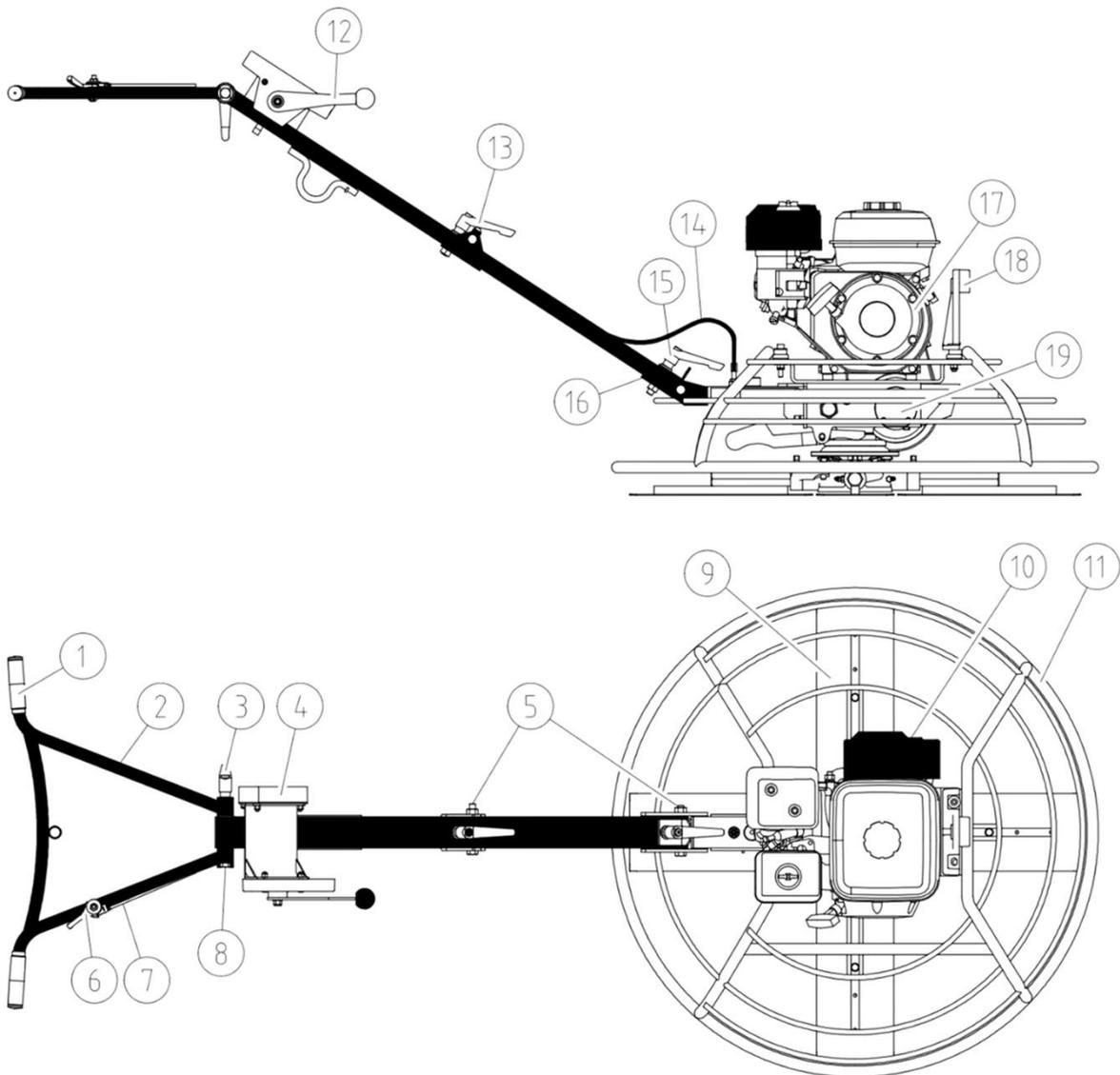
型 式	NSB-100-3	NSB-100-4
概略寸法	L1932 × W937 × H1740(mm)	L1932 × W937 × H1740(mm)
本体質量	82 kg	85 kg
エンジン	160cc 空冷4ストローク単気筒 ガソリンエンジン	160cc 空冷4ストローク単気筒 ガソリンエンジン
最大出力	3.6kW	3.6kW
燃料タンク容量	3.1L	3.1L
翼回転数	70 ~ 130 r.p.m	70 ~ 130 r.p.m
翼羽根数	3	4
ブレードサイズ	150 × 355(mm)	150 × 355(mm)

各部の名称

各部の名称

ハンドロウェル シリーズ		
番号	名 称	数量
1	グリップ	2
2	ハンドル	1
3	クランプレバー (黒) めねじ	1
4	遠心スイッチ	1
5	M12 X 85 ボルト	2
6	アクセルレバー	1
7	アクセルワイヤー	1
8	M12 X 140 ボルト	1
9	ブレード	3 or 4
10	ベルトカバー	1

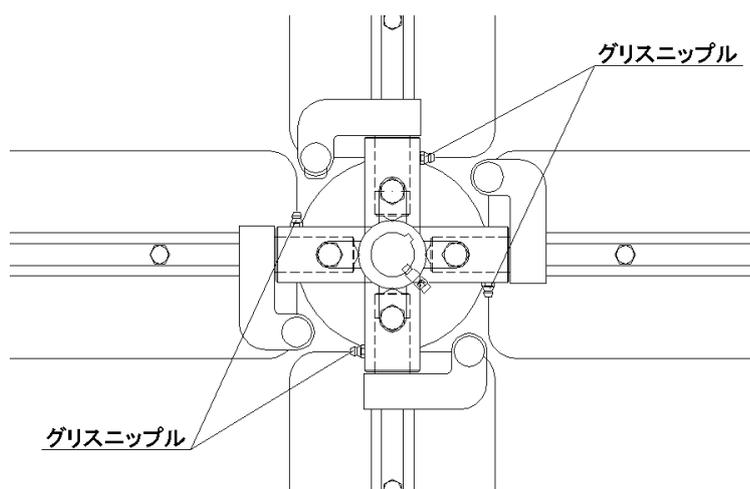
ハンドロウェル シリーズ		
番号	名 称	数量
11	スカート	1
12	ブレード調整レバー	1
13	クランプレバー (黒) おねじ	1
14	ブレード用ワイヤー	1
15	クランプレバー (橙) おねじ	1
16	ハンドルフレーム受け	1
17	エンジン	1
18	ハンドル固定ブラケット	1
19	ミッション	1



運転方法

1、始業前点検

- (1) 本体を平らな場所に下ろし、エンジンオイルの点検をして下さい。
- (2) エンジンオイルが不足している場合は、注油して下さい。
- (3) 燃料タンクを点検し、無鉛ガソリンを給油して下さい。
- (4) 一ヶ月以上経過したガソリンは、新しいものと交換して下さい。
- (5) ブレードを取り付けているアームの横にあるグリスニップルから、定期的にグリスを給油して下さい。



2、作業場所の確認

回転するブレードが、柱のベース、鉄筋、段差等、コンクリート面上で異物に当たらない事を確認して下さい。ブレードや機体が破損することがあります。

3、エンジンの始動

- (1) ハンドルフレームがクランプレバー各種と全てのボルト・ナットに緩みがないこと確認してください。
- (2) アクセルレバーの位置は、全閉になっているか確認して下さい。
- (3) 遠心スイッチを“ON”にして下さい。
- (4) エンジンの燃料コックを開き、チョークノブを引いてからエンジンを始動して下さい。
- (5) エンジンが始動した後、チョークノブを静かに押し戻して下さい。

エンジンを始動する時は、本機のハンドルフレームを片方の手で持ち、エンジン始動グリップをもう一方の手で引いて下さい。

- ⚠ 警告** スカート部分に足をかけて、エンジンを始動させないで下さい。
- ⚠ 警告** エンジン始動用グリップは、あまり急激には引かないで下さい。遠心式クラッチが作動し、ブレードが回転する事があり、危険です。
- ⚠ 警告** ハンドルフレームを折りたたんだ状態で、エンジンを始動させないで下さい。

運転方法

4、ハンドトロウエルの運転方法

- (1) 施工するコンクリートの硬化状態を確認して下さい。
コンクリートが軟弱だと、ブレードが沈み込み、十分な仕上ができません。
施工に適切な硬さに硬化してから、ハンドトロウエルを使用して下さい。
- (2) ハンドルを握り、アクセルレバーを“開”にして下さい。
スロットルが十分に開いていないと半クラッチの状態になり、クラッチが発熱したり、焼き付いて寿命が短くなります。
- ⚠ 注意 クラッチがスムーズにつながらない場合は半クラッチ状態ですので、アクセルレバーを“開”の方へ引き、エンジン回転数を上げて下さい。
- (3) 運転操作はゆっくりと行って下さい。急激なハンドル操作は避けて下さい。
- (4) コンクリートの硬化に伴ってブレードの角度の調整を行って下さい。
ブレードの角度調節は、ハンドルの右下にあるブレード調節レバーで行います。
調節レバーを手前に引くとブレードの角度が上がります。
コンクリートが柔らかい時はブレードを水平にし、コンクリートの硬化につれてブレード角度を上げて下さい。
- (5) 本機の移動はハンドルを動かす方向によって決まります。
ブレードの回転方向と、床との摩擦によって、本機を自由に動かす事ができます。
 - 1 右移動はハンドルを下げます。
 - 2 左移動はハンドルを上げます。
 - 3 前進はハンドルを前方に押しします。
 - 4 後退はハンドルを引きます。

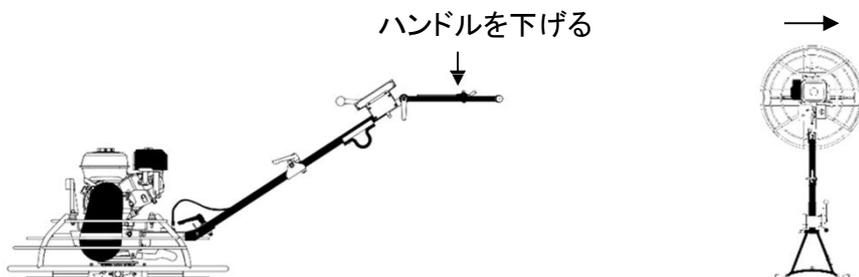
次ページの図を参照して下さい。

- ⚠ 警告 回転部分には、手や足を近づけないで下さい。
- ⚠ 警告 ベルトカバーを外したままで、運転を行わないで下さい。

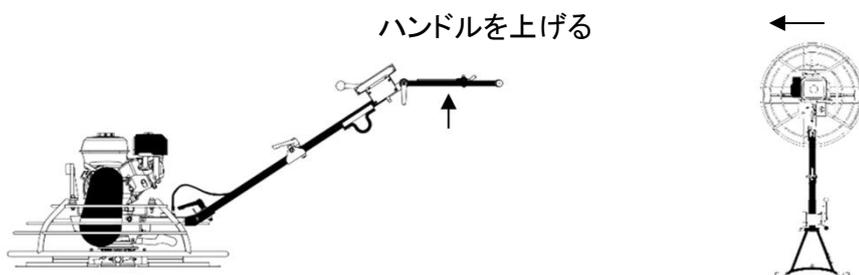
運転方法

ハンドトロウエルの運転方法

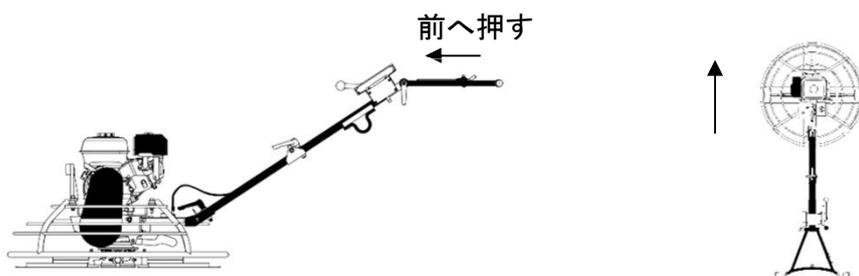
1 右移動



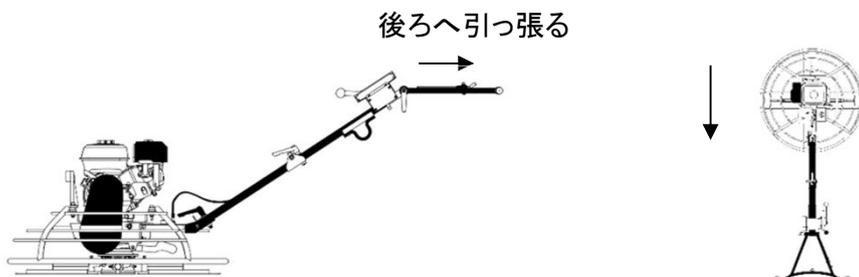
2 左移動



3 前進



4 後退



5、エンジンの停止

(1) 作業が終了したら、ハンドトロウエルを搬出し易い場所に移動させ、アクセルレバーを戻します。約15秒間、アイドリングを行った後、遠心スイッチを“OFF”にしてエンジンを停止させて下さい。



警告

エンジンをかけたままで、ハンドトロウエルから離れないで下さい。
本機から離れる場合は、必ずエンジンを止めてから次の動作に移って下さい。



注意

運転直後にエンジンを停止させると、マフラーから大きな爆発音(アフターファイヤー)が出る事があります。



注意

キャブレターの内部に燃料が残ったまま長期間放置すると、固着のため燃料系が詰まり、エンジンがかからなくなります。ハンドトロウエルを1週間以上使用する予定がない場合は、運転状態にし、燃料コックを“OFF”にして、エンジンが自然に停止するまでアイドリングを行い、キャブレターの内部に燃料が残らないようにします。

運転方法

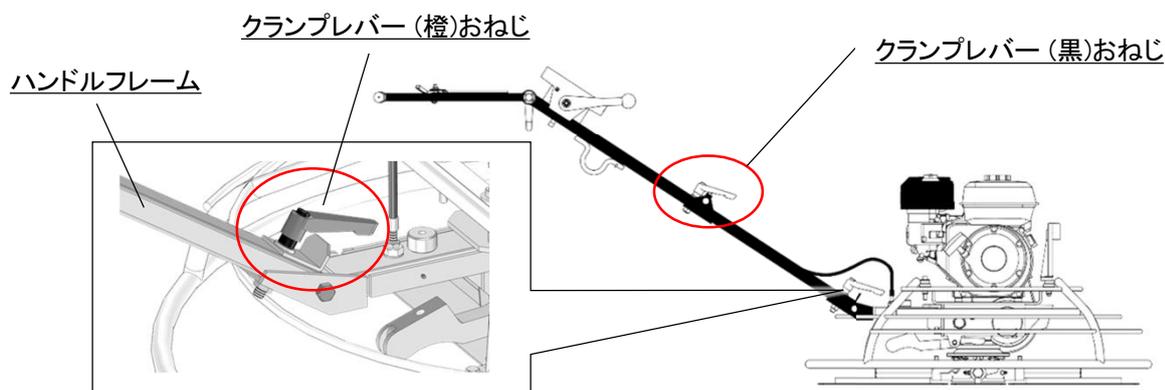
6、安全装置

本機は安全装置(遠心スイッチ)を備えています。
この装置は万が一手を放してしまった時でもエンジンが自動的に停止するスイッチです。
以下の注意を守って正しくご使用下さい。

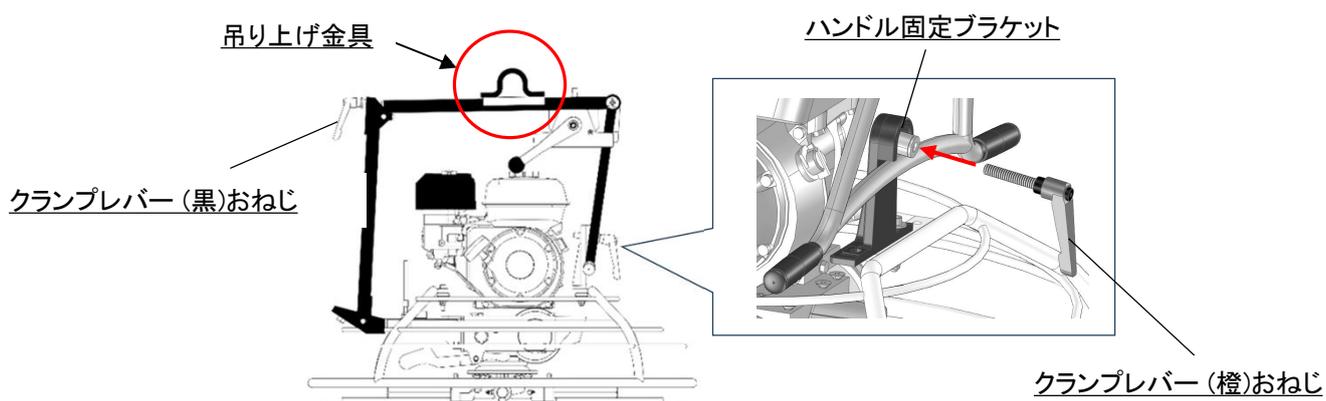
- (1)本機から手を放してしまった時は、すみやかに本機から離れて下さい。
エンジンが完全に停止してから近づきましょう。
- (2)エンジンを再始動する時には遠心スイッチを“ON”にし、アクセルレバーを全閉の位置に戻します。
この動作は確実に行って下さい。
- (3)アクセルレバーが“閉”の位置にあることを確認してから、エンジンを始動します。

7、折り畳みハンドル固定方法

- (1)ハンドルフレームを固定しているクランプレバー(橙)おねじとクランプレバー(黒)おねじを取り外します。



- (2)ハンドルを折り畳み下図の様にクランプレバー(橙)おねじとクランプレバー(黒)おねじを固定して下さい。



- ⚠ 警告** 吊り上げる時は必ずハンドルを折りたたみ、ハンドルをハンドル固定ブラケットにクランプレバー(橙)おねじで確実に固定してハンドルがロックされているか確認して下さい。
- ⚠ 警告** 吊り上げる時は必ず上図の吊り上げ金具部分で吊り上げて下さい。それ以外の部分で吊ると、バランスが崩れ、落下やエンジン損傷の原因になります。
- ⚠ 警告** 吊り上げる時や持ち運ぶ時は、必ずエンジンの燃料コックを”OFF”にして下さい。

運転方法

8、清掃及びメンテナンス

- (1) 本機の手清掃、メンテナンスは作業終了後に必ず行ってください。また、作業開始前の点検も行って下さい。
- (2) 作業終了後、できるだけ早く本機を水洗いし、付着したコンクリートを除去して下さい。
- (3) 作業開始前に、機体に油を塗布しておくことと簡単に付着したコンクリートを除去することができます。
- (4) コンクリートが固まる前に、機械の可動部の清掃を入念に行って下さい。
Vプーリー、ブレード取付部及びブレード等に付着しているコンクリートは完全に落として下さい。
- (5) 各グリースニップルに清掃後グリースを注入して下さい。
- (6) 各取付ボルトに緩みがないか、確認して下さい。
- (7) エンジンオイルの量を点検して下さい。
- (8) ミッションオイルは初回、使用後 1～2ヶ月で交換して下さい。2回目以降は6ヶ月、または 2500～ 3000時間使用毎にオイル交換をして下さい。
- (9) 本機(エンジン)を傾けて清掃しないで下さい。

・ミッションオイルの交換

適合オイル
ISO VG150 (ギヤオイル 150) を
ご使用下さい。

9、ブレード

- (1) ブレードは消耗品です、摩耗した場合は取替えて下さい。
- (2) ブレードは固定しているネジを2個を外し、ブレード取付用ネジに付いているプラグを外して、反対方向にブレードを取付けることができます。
これによってブレードを2回使用することができます。

10、エンジン

エンジンに関する取扱方法は添付のエンジン取扱説明書を御参照下さい。



株式会社 友定建機

本 社	〒577-0065 TEL	東大阪市高井田中 3 丁目 4 - 2 0 06-6784-6571 (代)	FAX	06-6784-6549
東京支店	〒175-0045 TEL	東京都板橋区西台 3 丁目 2 3 - 7 03-3932-5222 (代)	FAX	03-3932-5221
九州支店	〒818-0132 TEL	福岡県太宰府市国分 1 丁目 7 - 1 3 092-928-6845 (代)	FAX	092-928-6847
仙台営業所	〒983-0005 TEL	宮城県仙台市宮城野区福室5-2-3-B101 022-794-8661 (代)	FAX	022-794-8662